

- I 改正ガイドライン～児童館への期待
- II 過去3年間の来館者数と小学生利用
- III 本年度後半の主な行事、安全指導他

憶児童センター新聞

THE AOKISenter NEWSepar

令和7年3月31日
発行 憶児童センター
宮崎市吉村町平塚甲
電話・FAX 26-5557

更なる児童館への期待

（児童館ガイドラインの改正R7・4）

児童館ガイドラインとは、「児童館の運営や活動が地域の期待にこたえるための基本的事項を示し、望ましい方向を目指すもの」として、平成23年に発出されました。今回、**こども居場所としての更なる機能強化**を目指し、令和7年4月1日付で改正されました。次は、その中で、今後、児童館に期待されている主な内容です。

① **こどもの権利**についての職員の研修実施やこども及び保護者・地域等への啓発に努める。

② **遊びを基盤としたソーシャルワーク**を展開する。（子ども達や保護者の気持ちを表現しやすい環境（SNS）を取り組んでいきます。

③ **災害時の児童館の役割を計画に盛り込む**（発生直後はこどもの一時的な場として、その後はこどもの居場所・遊び場としての機能させる）

④ 地域におけるこどもの居場所づくりに関する**コーディネーターとしての役割を期待**

⑤ 自治体に対してガイドラインへの理解と普及に努める。

今後、これらの改正点を踏まえつつ、誰一人取り残さない「こどもと真ん中社会の実現」に向けて、地域の皆さんと連携しながら、安心・安全で魅力的な子どもたちの居場所づくりに取り組んでいきます。

子どもの権利条約とは・・・

世界中の子どもたちが、安全な環境で、安心して自分に自信を持って生活するために守られるべき権利について定めた世界の合意、国際法。子どもは、守られる存在だけでなく、大人同様一人の人間としての権利がある。

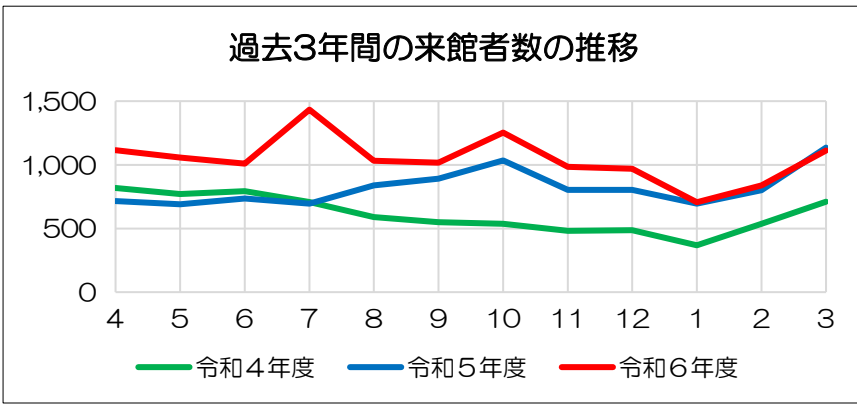


【権利条約4つの原則】

- ① **差別禁止**
人種、国籍、障がい、性、宗教など、どんな理由でも差別されてはいけない。
- ② **最善の利益**
子どもは、子どもが関わるすべての活動において、子どもの最善の利益を第一に考えてもらう。
- ③ **「生命・生存・発達の権利」**
戦争や暴力・差別・貧困・疾病などから保護され、健全に発達していくこと。
- ④ **「意見を聞かれる権利」**
自分に影響を与えるすべての事柄について、自由に自分の意見を述べ、その意見を正当に重視してもらう権利。

過去3年間の来館者数（人） ※3月は3/29までの人数です。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
R4 年度	818	770	793	708	590	550	536	482	487	368	537	710	7,349
R5 年度	714	690	736	694	839	891	1,034	803	804	694	800	1,135	9,834
R6 年度	1,115	1,057	1,010	1,433	1,031	1,018	1,253	984	970	706	839	1,112	12,528



小学生学年別来館者数 (R6年度は3/29まで)

学年	R4	R5	R6
1	670	1615	714
2	597	1092	1408
3	649	1317	1085
4	461	859	2007
5	721	595	1799
6	84	422	356

本年度前半は、毎月千人を超える利用があった。月別にみると7月、10月が多かった。少ないのは毎年のことではあるが1月。小学生の学年別では、R5年度は1年生が一番多かったが、本年度は4、5年生の利用が多い。6年生から中学生になると利用は少なくなるが、ボランティアで活躍し支えてくれている。

- ### これまでのインスタ(順不動)
- 活動の様子が一目瞭然。ご覧ください
- ・憶児童センター紹介
 - ・交流ひろば(ようこそ赤ちゃん,電車でGO!)
 - ・つながる防災「焚火台でぐるぐるパン」
 - ・つながる防災「防災ボード」
 - ・ハートフルボランティア
 - ・みんなの居場所「児童館」
 - ・夏野菜収穫 2023
 - ・東京おもちゃ美術館
 - ・とんとん相撲
 - ・お楽しみ会「人形劇」
 - ・夏野菜種播き、苗植え
 - ・憶児童センターSDGsへの挑戦!
 - ・春野菜収穫「玉ねぎ、スナップエンドウ」
 - ・図工教室「マーブリングと日光写真」
 - ・みんなで歌ってみた「虹」
 - ・2024夏の行事「総合防災訓練他」
 - ・じどうかんもあるよ
 - ・交流ひろば「焚火台でピザ焼き体験」
 - ・憶古墳と防災窯ピザ焼き体験
 - ・地震発生時2次避難



父親の来館者状況

本センターには、通常の土曜日に子どもと一緒に父親の来館がよくあります。子どもと一緒に過ごしているその光景がとても微笑ましいです。「父親の来館増」は、館の目標の一つでもあり、その対策としていくつかの行事を土・日に計画しています。下表は、本年度の主な土・日開催行事の保護者参加数とその中の父親の割合です。これからも、気軽に遊びに来てください。

【R6 主な行事における父親参加数】

月	曜	行 事	保護者総数	父親%
10	日	東京おもちゃ美術館	19	47
11	土	憶小移動児童館	26	46
12	土	門松づくり	36	44
12	日	憶健康福祉まつり	72	29
1	土	新春獅子舞体験	27	33
2	日	憶古墳とピザ焼き	30	47

「乳幼児子どもさんの見守り」についてのお願

乳幼児(未就学児)の子どもさんと来館された場合、保護者の方は子どもさんの見守りをお願い致します。子どもさんだけを残したままでの外出はご遠慮ください。駐車場への忘れ物取り等については、職員へ一声おかけください。

「大好評春野菜収穫」スナップエンドウ・新玉ねぎ

今年もスナップエンドウと新玉ねぎが10月の種まきから約5か月、そして、1・2月の寒さに耐え大きく育ちました。どう料理して食べるか子ども達もママ達も笑顔で話していました。野菜の収穫は児童館ならではの貴重な体験です。

令和6年度 後半の主な行事紹介

<h3>市児童館スポーツ交流</h3> <p>【1月19日(日)】…2チーム第3位</p> <p>市児童館スポーツ交流大会(卓球)が生目の杜運動公園体育館で行われ、本センターからは2チームが参加しました。両チームとも第3位という素晴らしい結果でした。憶児童センターで人気あるスポーツです。ルールとマナー、感謝の心を学びます。</p> 	<h3>和太鼓体験教室</h3> <p>【1月6日(土)】…和太鼓に感動</p> <p>講師に太鼓屋の先生と小学生チームを招き和太鼓体験を行いました。叩き方や姿勢等を学んだ後、他の来館者を招き演奏会まで実施でき、参加者大満足でした。最後には小学生による演奏に、みんな圧倒され和太鼓演奏魅了されました。</p> 	<h3>憶地区健康福祉まつり</h3> <p>【5月18日(土)】…参加者約二百人</p> <p>憶地区健康福祉祭りに、パラスポーツ(ボッチャ)で、憶中生に手伝ってもらいながら参加させていただきました。幼児から高齢者まで多くの地域の皆さんが、ボッチャを体験しました。地域の多くのみなさんと交流できとても充実した1日でした。ヴィアマテラス宮崎の選手2名にも参加していただきました。</p> 
<h3>交流ひろば「電車でGO！」</h3> <p>【交流ひろば 11月20日】</p> <p>赤江ふれあい公園(飛行機の見える公園)に、電車乗車体験を兼ねて親子遠足に行ってきました。減多に乗らない電車に子ども達も大喜び。天気にも恵まれ、飛行機もお腹が間近で見れました。とっても貴重な体験でした。</p> 	<h3>交流ひろば「みそ作り体験」</h3> <p>【交流ひろば 10月30日実施】</p> <p>「みやざきの食と農を考える県民会議」の食育ティーチャー河野穂子氏を招き、乳幼児親子を対象にして実施。ジブロックに蒸した大豆を入れ手で潰し、それに米麴、塩、蒸し汁を混ぜたものを入れ、更によく混ぜ合わせる。それをラップにとり、空気を抜いて新しいジブロックに入れる。常温、涼しい暗所で3カ月で完成。</p> 	<h3>憶古墳とピザ焼き体験</h3> <p>【2月2日(日)】…地域を知る</p> <p>憶地域まちづくり推進委員会と平塚子ども会の皆さんのご協力のもと、憶公民館と憶地域事務所内で「憶古墳とピザ焼き体験」を行いました。憶地区の歴史を学ぶこと、防災窯が敷地内に設置してあることを知ることを目的に、家族でピザ焼きを楽しむことが目的。生地がふんわりし「美味しい」と好評でした。</p> 

主な行事の地域の連携団体…「子どもの健全育成へのご協力に感謝しております。」

月	行事名	連携団体	月	行事名	連携団体
5	子どもフェスタ	高校(宮崎学園,海洋,南),子ども会	12	門松作り	講師、子ども会
5	花野菜苗植え	近隣地域の方々	12	憶健康福祉祭り	憶地区社協、地域まちづくり
7	総合防災訓練	憶中、近隣自治会、県防災士	2	憶古墳とピザ焼き体験	地域まちづくり、子ども会
9	防災食づくり	講師、子ども会	2	とんとん相撲と焼き芋会	老人クラブ
11	東京おもちゃ美術館	講師、憶中学校	通年	卓球交流会	憶中、地域住民他

職員異動

- 退職 館長 亀川 重美
- 転出 厚生員 甲斐 紗希里(大塚台児童センターへ)
- 【令和7年度職員】
- 館長 竹崎 成夫(新任)
- 厚生員 前平 沙織(霧島児童館より)

☆今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

児童館もあるよ

児童館は子どもが自らの意思で自由に来館して、安心して過ごすことができる施設です。

困ったときや悩んだときに相談したり助けてもらえる大人(職員)がいます。子どもにとって欠かすことのできない地域の居場所です。

そっと話をきかせてよ
ほっとひと息ついてほしい
きっと力になれるとおもう
じどうかんは
ここにあります

本年度の安全指導実績

月	行事名
4	遊具の使い方、遊び方①
5	地震避難訓練①
6	地震避難訓練②
6	(職)総合防災訓練計画
7	地域総合防災訓練
8	水消火器体験①
8	自転車安全教室(警察)
9	防災食づくり体験
10	不審者対応避難訓練(警)
11	(職)地震・津波警報時垂直避難確認
12	自転車乗り方、遊び方②
1	火災避難訓練
2	水消火器体験②
3	地震力エルのポーズ

毎月の安全指導

全ての子どもが健やかに成長できる安全・安心な環境を提供し、さまざまな角度から子どもの安全を守るために、毎月、安全に関する取組を計画的に行っています。

地震・津波や火災及び不審者対応の避難訓練、警察と連携した安全教室、地域自治会と合同で行う防災訓練(教室)、センターでの遊びルール確認等です。また、職員研修として、避難経路確認やマニュアルの見直し、役割分担等も合わせて行っています。子どもの実態に応じた安全指導に取り組んでいます。



ハザードマップ確認



水消火器体験